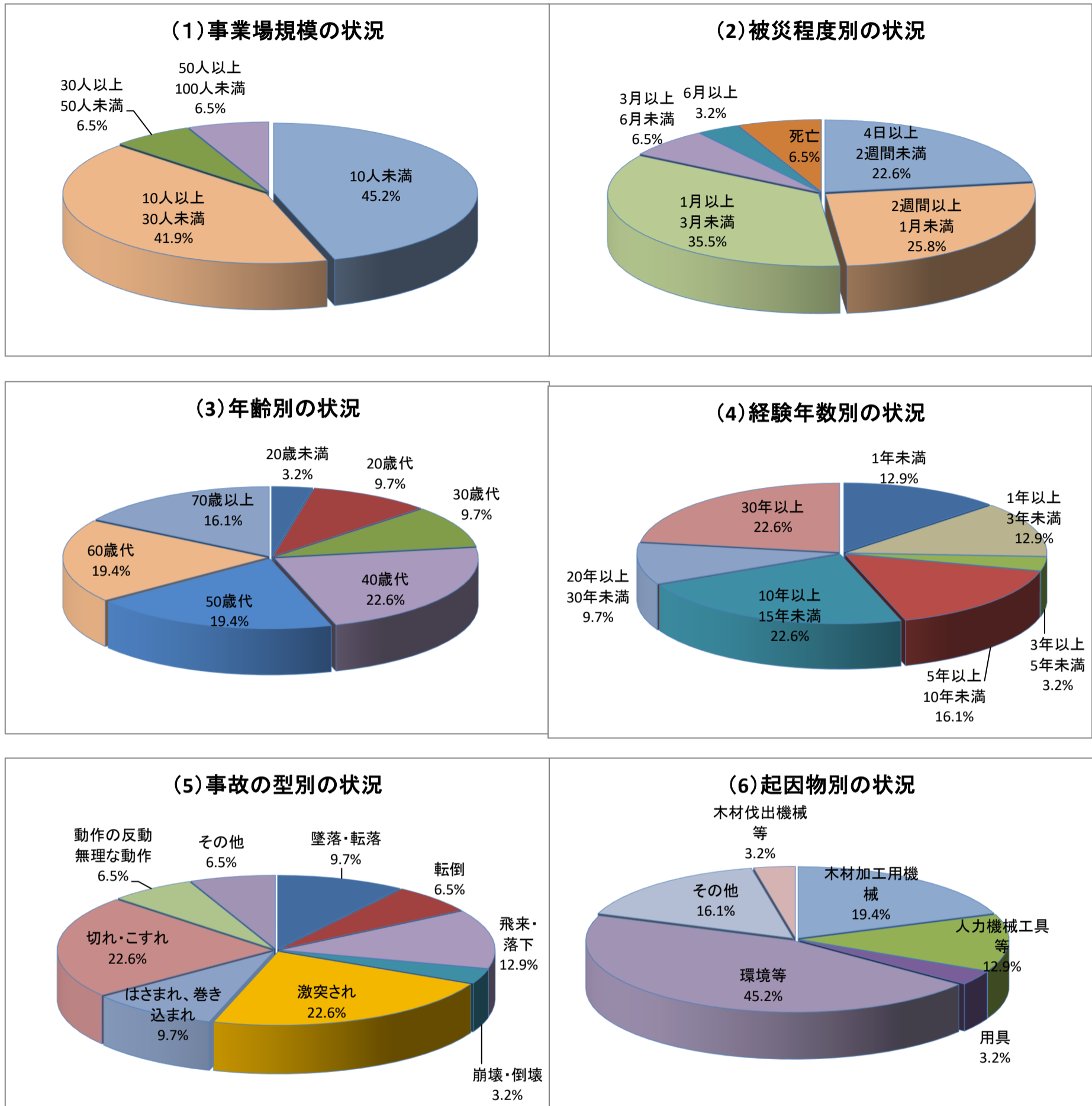


16.林業における労働災害発生状況(令和2年)

(林業:31人)



1. 事業場規模別では、「10人未満」の事業場が45.2%と最も多く、次いで「10人以上30人未満」が41.9%となっている。
2. 被災程度別では、「休業1月以上3月未満」が35.5%で最も多く、次いで「2週間以上1月未満」が25.8%、「休業4日以上2週間未満」22.6%の順となっている。休業日数「1月以上」の災害の割合は51.7%である。
3. 年齢別では、40歳代が22.6%と最も多く、次いで50歳代と60歳代がそれぞれ19.4%、70歳以上16.1%と続いている。60歳以上が35.5%となっている。
4. 経験年数別では、「30年以上」「10年以上15年未満」がそれぞれ22.6%と最も多く、「5年以上10年未満」16.1%の順となっている。
5. 事故の型別では、「切れ・こすれ」「激突され」がそれぞれ22.6%と最も多く、次いで「飛来・落下」が12.9%、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」がそれぞれ9.7%の順になっている。
6. 起因物別では、「環境等」(立木、地山等)が45.2%と最も多く、次いで「木材加工用機械」19.4%となっている。